

	5	10	15	20
5				

第 1 回 オリент

問 1 エジプト中王国時代に関する記述として、適切なものを 1 つ選べ。

- ① テル=エル=アマルナに都をおいた。
- ② 粘土板に楔形文字で記された大量の外交文書、アマルナ文書が作成された。
- ③ ラメス 2 世は、カデシュの戦いのあとヒッタイトと現存最古の平和条約を結んだ。
- ④ 中王国の衰退後、遊牧民ヒクソスがデルタ地帯を支配し第 15 王朝を建てた。

(早稲田・人間科学 改)

問 2 古代エジプトに関連した記述のうち、適切なものを 2 つ選べ。

- ① ギザに大ピラミッドを建設させたクフ王は、古王国時代第 4 王朝の王である。
- ② アモンが唯一神として強制された中王国時代の一時期を除き、太陽神を主神とした多神教を信仰した。
- ③ 古王国の衰退後、下エジプトのメンフィスに興った王家が第 11 王朝を開き、官僚制度を整えた。
- ④ 写実的なアマルナ美術は、第 18 王朝アメンホテプ 4 世の時代に開花した。
- ⑤ 第 19 王朝のトメス 3 世はシリアのカデシュをめぐるヒッタイトと戦い、最古の平和条約を結んだ。

(早稲田・社会 改)

問 3 シュメール人に関する記述として、適切なものを 1 つ選べ。

- ① シュメール人は太陰暦を使用した。
- ② シュメール人は、神聖文字を発明した。
- ③ シュメール人の王ハンムラビは、同害復讐の原則を重視した。
- ④ シュメール人の都市国家は、ヒッタイトに征服された。(慶應義塾・商 改)

問 4 ヒッタイトに関する記述として、誤っているものを 1 つ選べ。

- ① インド=ヨーロッパ語系の民族が建国した。
- ② 王国の首都は小アジアのハットゥシャ(現ボアズキョイ)に置かれた。
- ③ 前 16 世紀初め頃、バビロン第 3 王朝を滅ぼした。
- ④ 馬を使用し、早くから鉄製武器を用いた。
- ⑤ 12 世紀初め、「海の民」の侵入によって滅亡した。(中央・商 改)

問 5 ユダヤ教確立までの歴史に関する記述として、誤っているものを 1 つ選べ。

- ① ヘブライ人は前 13 世紀ころ、モーセに率いられてエジプトを脱出したとされる。
- ② ヘブライ王国第 3 代の王ソロモンはエルサレムにヤハウエの神殿を建てた。
- ③ ダヴィデ王の死後、ヘブライ王国はイスラエル王国とユダ王国に分裂した。
- ④ 新バビロニアのネブカドネザル 2 世は前 586 年、ユダ王国を滅ぼして、住民をバビロンに強制移住させた。(早稲田・人間科学)

問 6 四王国時代に関する記述として、誤っているものを1つ選べ。

- ① リディアは世界最古の硬貨を発行し、ギリシア人の交易活動にも影響を与えた。
- ② エジプトはデルタ地帯のサイスに都をおき、ギリシア人に特権を与えて優遇した。
- ③ 新バビロニアはイスラエル王国を滅ぼし、住民をバビロンに強制連行した。
- ④ イラン高原を統一したメディアは、エクバタナに都をおいた。(早稲田・教育 改)

問 7 アケメネス朝に関する記述として、誤っているものを2つ選べ。

- ① キュロス2世によりバビロン捕囚を解かれたユダヤ人は、帰国してイェルサレムに神殿を再建し、ユダヤ教を成立させた。
- ② 全国を20あまりの州に分け、サトラップをおいて統治した。
- ③ 軍用道路「王の道」を整備し、監察官「王の耳」「王の目」を派遣した。
- ④ アケメネス朝で国教とされたゾロアスター教は、唐代の中国で祆教と呼ばれた。
- ⑤ ペルセポリスを帝国行政の首都と定めた。(早稲田・社会 改)

【正誤問題解答】

問 1 ④ 問 2 ①・④ 問 3 ① 問 4 ③

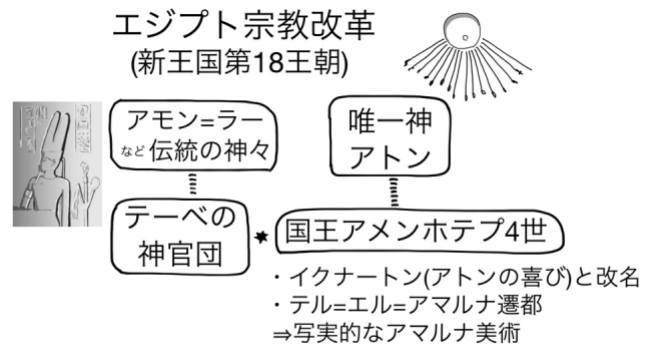
問 5 ③ 問 6 ③ 問 7 ④・⑤

【論述問題】

エジプト新王国で行われた宗教改革について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい

テーベ 多神教 遷都

エジプト宗教改革
(新王国第18王朝)



5	10	15	20
5			

【論述問題解答例】

第0回 旧石器時代は打製石器を用いた狩猟採集の獲得経済だった。新石器時代に農耕・牧畜の生産経済がはじまり、農具としての磨製石器、調理や貯蔵用の土器が作られ、定住生活がはじまった。(85字)

前期第2回 古代ギリシア①

問1 エーゲ文明に関する説明として、誤っているものを1つ選べ。

- ① クレタ文明の特徴をよく示すものに、生物を描いた壺絵がある。
- ② ティリンスは、クレタ文明の代表的遺跡の一つである。
- ③ ミケーネ文明では、巨石を用いた城塞が築かれた。
- ④ ミケーネの王は、役人を用いて貢納をとりたてた。
- ⑤ ミケーネ文明衰退期に、「海の民」が侵入している。 (明治・経営 改)

問2 ミケーネ文明についての記述として誤っているものを1つ選びなさい。

- ① 堅固な巨石城砦が築かれ、王宮の入り口の獅子門は今も残っている。
- ② 前16世紀、印欧語系の人々がギリシア本土に形成した青銅器文明である。
- ③ トロイアを発掘したシュリーマンは、ミケーネ文明の遺跡も発掘した。
- ④ クノッソスやピュロスなどの都市が栄えた。 (中央・全学部統一)

問3 ポリス形成期の社会についての以下の説明のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- ① クレーロスとよばれる私有地が、貴族にのみ分配された。
- ② アカイア人の移動とともに鉄器が普及した結果、農業生産が拡大した。
- ③ アクロポリスとよばれる公共の広場が政治・経済活動の中心となった。
- ④ 言語・宗教・祭典などを基礎に、ギリシア人としての意識が高められた。 (明治・全学部統一 改)

問4 古代ギリシアについて、正しい説明はどれか。

- ① ミケーネ文明から、鉄器文明の時代に入った。
- ② アテネはイオニア人のポリスである。
- ③ 完成期のアテネの民主政では、20歳以上の全成人が民会に参加した。
- ④ 陶片追放(オストラシズム)はペリクレス時代に創設された。 (早稲田・教育)

問5 アテネとスパルタについての記述のうち、適切でないものをすべて選べ。

- ① アテネにはメトイコイと呼ばれる他のポリス出身の居留外国人が多数おり、商工業や文化の面で活躍した。
- ② スパルタには、完全な市民、重装歩兵に召集されるが参政権をもたないヘイロータイ、国有奴隷として市民に隷属する農民であるペリオイコイの三階層があった。
- ③ ポリスの所有するラウレイオン銀山が産出する大量の銀は、スパルタに膨大な戦費をまかなう財政基盤を与えた。
- ④ スパルタでは、市民すべてを重装歩兵に召集するための軍国主義的な教育が行なわれ、一種の鎖国政策がとられた。 (早稲田・社会科学 改)

問 6 アテネとスパルタに関連する以下の文章から、正しいものを 1 つ選 びなさい。

- ① 最盛期のアテネでは、市民以外の住民もふくめた総人口は30万人にのぼった。
 - ② アテネの平民は本来、所有地を持たず、商工業に従事するのが一般的であった。
 - ③ ヘイロータイとよばれていた奴隷身分の農民に対して、ペリオイコイとよばれる商工業者は従軍の義務を負い、一定の参政権を認められていた。
 - ④ スパルタでは、リュクルゴスの制とよばれる特殊な体制がとられており、市民団の結束がはかられ、また商工業が育成された。
- (成蹊・法 改)

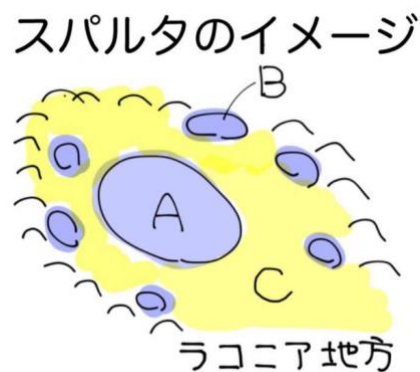
【正誤問題解答】

問 1 ② 問 2 ④ 問 3 ④ 問 4 ② 問 5 ②・③ 問 6 ①

【論述問題】

スパルタの国家体制を定めた人物の名と、その体制の特徴について、以下の語句を用いて90字以内で説明せよ。

参政权 隶属民



スパルタの身分制度
(リュクルゴス体制)

- ドリア人 征服者
A, スパルタン (戦士) ↑ 参政権
B, ペリオイコイ (商工業者) ↑ 兵役
先住民
C, ハイロタイ (隷属民) 90%

	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

第1回 アモン=ラーを中心とする多神教の神官団が政治介入を強めた。これを嫌うアメンホテプ4世は、アトンの一神教を創始して自らイクナートンと改名し、テーベからテル=エル=アマルナへ遷都した。(90字)

前期第3回 古代ギリシア②

問1 古代アテネに関する記述として、適切なものを一つ選べ。

- ① 貴族のみが、土地や奴隷を所有できた。
- ② 奴隷は、兵士として国防の義務を負った。
- ③ ソロンが債務奴隷を禁止し、陶片追放の制度を定めた。
- ④ ペイシストラトスが僭主政治を確立し、中小農民を保護した。(成蹊・文 改)

問2 前6世紀のアテネ民主政治について述べた文の中で、正しいものはどれか。

- ① ドラコンによって、初めて成文法が制定され、法による秩序の維持が図られた。
- ② ソロンは、財産政治、負債の帳消し、債務奴隷の禁止などの改革を実施した。
- ③ ペイシストラトスが僭主政治を倒し、中小農民を保護して文化事業を育成した。
- ④ デモステネスが陶片追放を定め、僭主の出現を防いだ。(早稲田・人間科学)

問3 アテネの政治史に関する記述のうち最も適切なものを1つ選べ。

- ① ドラコンは、従来からの貴族の慣習法を否定して、市民すべてに対する公正で厳格な裁判を運営するための法律を新たに制定した。
- ② ソロンは貴族と平民の調停者として負債を帳消しにして債務奴隷を禁止し、財産による等級制を廃止して平民に政治参加の権利を与えた。
- ③ ペイシストラトスは、僭主として独裁的権力を握ったが、平民を支持基盤とし、農民に土地を分配して中小農民を保護・育成した。
- ④ クレイステネスは、従来からの血縁に基づく4部族制を発展させて住民の居住地区であるデーモスを設け、行政や軍事の単位とした。
- ⑤ ペリクレスは20歳以上の男子市民で構成される民会を最高議決機関とし、抽選制で議員を選出する五百人評議会を設置した。(早稲田・社会 改)

問4 イオニア地方について、次の記述のうち適切なものを1つ選べ。

- ① イオニア人は前20世紀頃にギリシア本土に南下し、ミケーネ文明を建設した。
- ② 小アジアのメディア王国にはじまる金属貨幣は、ギリシア本土にも広まった。
- ③ イオニア地方には、ミレトス、ネアポリス、エフェソスなどの植民都市が建設された。
- ④ アケメネス朝に対するイオニア諸都市の反乱をアテネが援助したことが、ペルシア戦争のきっかけとなった。(早稲田・社会 改)

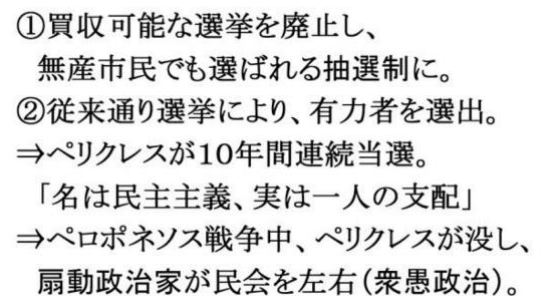
問5 ペルシア戦争に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- ① ミルティアデス率いるアテネ重装歩兵軍は、マラトンの戦いでペルシア軍を破った。
- ② レオニダスの率いるスパルタ軍は、テルモピュレーの戦いでペルシア軍を撃退した。
- ③ テミストクレスは、ラウレイオン銀山の資金で艦隊を建造し、サラミスの海戦でペルシア艦隊を破った。
- ④ スパルタやアテネなどの連合軍は、ペルシア軍をプラタイアイの陸戦で破った。

- ① アテネは、ペルシアの報復に備えてデロス同盟を結成し、ほかのポリスを支配した。
- ② アテネは、ペリクレスの指導のもとで、直接民主政の制度を整備していった。
- ③ アイオリス人のポリスであるスパルタは、エパメイノンダスのもとで勢力を拡大した。
- ④ スパルタはペロポネソス同盟の盟主として、ペロポネソス戦争でアテネと戦った。

問 1 ④ 問 2 ② 問 3 ③ 問 4 ④
問 5 ② 問 6 ③

サラミス海戦 民会 扇動政治家



	5	10	15	20
5				

第2回 問3 リュクルゴス。征服者のスパルタ人が参政権を独占し、軍事訓練に励んだ。半自由民のペリオイコイを商工業に従事させ、先住民のヘイロータイを隷属民として農業労働に従事させた。(82字)

前期第4回 共和政ローマ

問1 リキニウス・セクスティウス法の説明文として**正しくないもの**を一つ選べ。

- ① この法は、2人の護民官が提案し、可決されたものである。
- ② 平民が奴隷身分に転落しないよう、債務奴隷の禁止を定めた。
- ③ 最高政務官の1名は、平民から選出されることとした。
- ④ 一人で500ユゲラを超える公有地の占有を禁じた。(青山学院・経営)

問2 ローマの身分闘争について述べた次の文の中で**誤っているもの**はどれか。

- ① 前5世紀、平民だけで構成された平民会と平民出身の護民官が設けられた。
- ② 前5世紀、貴族の慣習法を成文化した十二表法により平民の地位が向上した。
- ③ 前4世紀、リキニウス・セクスティウス法により執政官2人が平民から選出された。
- ④ 前3世紀、ホルテンシウス法で平民会決議が元老院の承認なしに国法とされた。(早稲田・人間科学 改)

問3 都市国家ローマの勢力拡大に関して**間違っているもの**を一つ選べ。

- ① イタリア半島征服の過程で、ローマはたぐみな分割統治を行ない、同盟市の市民にはローマ市民権を認めた。
- ② イタリア半島以外のローマの征服地で、ローマから派遣された総督によって統治された地域を属州という。最初の属州となったのはシチリアである。
- ③ 獲得した占領地の多くを公有地としたが、奴隷などの労働力や資力に恵まれた富裕市民がそれらの土地を占有したので、ラティフンディアが形成された。
- ④ ローマ軍の主力を担う中小土地所有農民が没落したため、マリウスは無産市民の志願兵を集めて軍団を組織するという軍制改革を行った。(法政・経済他)

問4 共和政時代のローマに関する次の記述のうち**誤っているもの**はどれか。

- ① 元老院は三つの民会の一つで、コンスルを任命するローマの最高機関だった。
- ② ローマは西地中海の支配をめぐるカルタゴとたびたび戦い、(大)スキピオはザマの戦いでハンニバルを破った。
- ③ 共和政末の内乱のなかで平民派のカエサルが頭角を現し、ポンペイウスを倒して、インペラトルの称号を手にした。
- ④ カエサルの暗殺後、アクティウムの海戦で勝利したオクタヴィアヌスがアウグストゥスという称号を手にした。(早稲田・政経 改)

問5 グラックス兄弟の改革に関連する記述として**誤っているもの**はどれか。

- ① 大スキピオの孫であり、相次いで護民官に就任した兄弟によって行われた。
- ② ホルテンシウス法の復活によって、公有地の占有を制限する政策を含んでいた。
- ③ 市民軍再建のため、公有地を再配分して自作農を創設する政策を含んでいた。
- ④ 公有地の占有規制を試みたため、元老院の反対をうけた。(早稲田・政経)

問6 古代ローマに関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

- ① クラッスは大土地所有者の土地を没収して、自作農の再建を試みた。
- ② 国防に重要な役割を果たした剣奴による身分闘争が頻繁におこった。
- ③ 戦争捕虜である奴隷を多数使ったコロナトゥスが営まれた。
- ④ リキニウス・セクスティウス法により、コンスルの 1 名は平民から選出すると定めた。

(成蹊・文)

問7 ローマの政争について述べた文として、適切なものを一つ選べ。

- ① 護民官に選ばれたグラックス兄弟は、大土地所有制度を守ろうとして、失敗した。
- ② トラキア出身の剣奴スパルタクスは、奴隷を率いて大反乱を起こした。
- ③ 平民派のグラックスは、閥族派のスラと互いに私兵を率いて抗争した。
- ④ レピドゥス、カエサル、クラッススが私的な盟約を結び、第1回三頭政治を始めた。

(早稻田・人間科学 改)

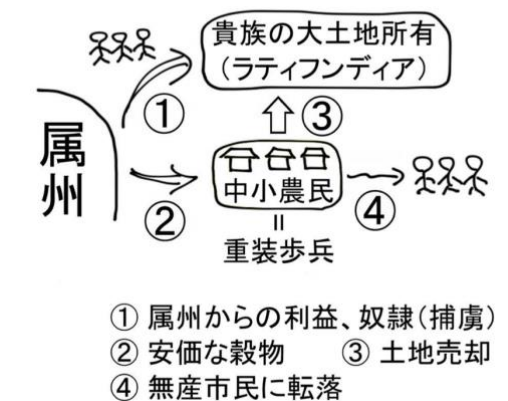
【正誤問題解答】

問 1 ② 問 2 ③ 問 3 ① 問 4 ① 問 5 ②

問 6 ④ 問 7 ②

【論述問題】

ポエニ戦争後のローマ社会の変化について、以下の語句を用いて 90 字以内で説明せよ。 [SEP] 穀物 奴隷 無産市民



	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

第3回 サラミス海戦で三段櫓船の漕ぎ手として無産市民が活躍した。彼らが参加できる民会を最高機関とし、将軍以外の官職を抽選制にした。のち扇動政治家が民会を左右し、衆愚政治に陥った。(85 字)

前期第5回 帝政ローマ、キリスト教の成立

問1 ローマ元首政に関連する記述として**不適切なもの**を1つ選りなさい。

- ① 元老院からアウグストゥスの称号を贈られたオクタウィアヌスは、共和政の制度を尊重し、自らを市民の中の第一人者と位置づけた。
- ② 五賢帝最後の皇帝マルクス=アウレリウス=アントニヌスは、辺境防衛に力を注いでブリタニアに長城を築いたほか、ストア派の哲学者として『自省録』を著した。
- ③ 軍人皇帝時代の混乱を收拾しようとしたディオクレティアヌス帝は、皇帝の神的権威を強調し、政治体制を専制君主政(ドミナトゥス)にかえた。
- ④ コンスタンティヌス帝は、官僚制と専制君主制を確立した。(成蹊・法 改)

問2 ローマ帝国の勢力拡大についての記述として**誤っているもの**を選りなさい。

- ① クレオパトラの死後、オクタウィアヌスはエジプトをローマの領土となった。
- ② トラヤヌス帝時代、ローマ帝国の領土が最大に達したとき、ティグリス川・ユーフラテス川の流域の一部までその勢力がおよんでいた。
- ③ ハドリアヌス帝は辺境防衛に力をそそぎ、ブリタニアに長城を築いたが、パルティアとの戦争を終結し、いくつかの属州を手放した。
- ④ マルクス=アウレリウス=アントニヌス帝は哲学に熱中し、メソポタミアを放棄した。

(中央・全学部統一 改)

問3 ローマ法とキリスト教に関する次の文章のうち、もっとも適切なものを選りなさい。

- ① コンスタンティヌス帝は、313年のニケーア公会議においてキリスト教を公認した。
- ② トラヤヌス帝は、三位一体説をとるアリウス派を国教とした。
- ③ エフェソス公会議で異端とされたネストリウス派は、中国へ伝わり祇教と呼ばれた。
- ④ ユスティニアヌス大帝が、法学者トリボニアヌスに『ローマ法大全』を編纂させた。

(明治・商 改)

問4 オクタウィアヌスに始まる政治体制に関する記述として**誤っているもの**はどれか。

- ① プリンケプスが実権を握る「プリンキパトゥス」と呼ばれる。
- ② エジプトなど元首が直轄する属州と、元老院が管轄する属州とに分けられた。
- ③ 五賢帝の最後の皇帝が、イタリア本土の全自由人にローマ市民権を付与した。
- ④ デイオクレティアヌス以来の統治体制は、ドミナトゥスと呼ばれる。(早稲田・政経)

問5 帝政ローマの出来事について述べた次の文の中で、**誤っているもの**はどれか。

- ① 五賢帝時代にローマは最盛期を迎え、トラヤヌス帝のとき領土は最大となった。
- ② カラカラ帝のときに、ローマ市民権は帝国の全自由人にあたえられた。
- ③ デイオクレティアヌス帝のときに、いわゆる軍人皇帝時代に入った。
- ④ テオドシウス帝は帝国を分割し、2子に分与した。(早稲田・人間科学)

問6 ローマ時代のキリスト教に関する次の記述のうち、**誤っているもの**はどれか。

- ① パリサイ派のユダヤ教徒だったパウロはキリスト教徒に回心し、各地で伝道した。
- ② ディオクレティアヌス帝は、帝国の統一のため皇帝に対する崇拜を強制し、キリスト教徒に対する迫害を行った。
- ③ コンスタンティヌス帝は、キリスト教の信仰の自由を認めるとともに、ニケーア公会議で教義の統一を図った。
- ④ テオドシウス帝は、エフェソスで公会議を開催し、三位一体説に反対するアリウス派を異端とする決定を行った。
(早稲田・政経)

【正誤問題解答】

問1 ② 問2 ④ 問3 ④ 問4 ③ 問5 ③ 問6 ④

古代ローマの土地制度

前2c- ポエニ戦争期

ラティフンディア
・奴隷を使役
・商品作物を栽培
(ぶどう・オリーブ)
穀物(商業) 属州
ワイン
オリーブ油

後1-2c

パクス=ローマナ期
・奴隷(捕虜)が不足
⇒奴隷解放が進む
・属州が
経済的に自立

3c 軍人皇帝時代

コロナトス
・小作人(コロナス)
を使役
・自給用 穀物を栽培
~~穀物(商業)~~ 属州
~~ワイン~~
~~オリーブ油~~

【論述問題】

ローマにおける大土地所有制度の変遷について、以下の語句を用いて、90字以内で説明しなさい。

奴隷 商品作物 コロナス

5																			

【論述問題解答例】

第4回 長期の従軍と属州からの安価な穀物の流入により、中小農民が無産市民へと没落した。一方、属州からの利益を独占した貴族が土地を買収し、奴隷を用いてラティフンディアを営んだ。(83字)

前期第6回 東アジア①（黄河文明～周の封建制）

問1 殷の首都に関する文章として誤っているものを選べ。

- ① 安陽が殷の首都であることは、ここから出土した甲骨文字の解読で判明した。
- ② 殷墟は商王朝の最後の都であり、王墓と推測される巨大な陵墓が発掘された。
- ③ 殷墟から出土する大量の青銅器の銘文から、神権政治の構造が解明された。
- ④ 渭水盆地を根拠地とした周は、東方の殷を滅ぼしたが、やがて自らも東遷する。

（早稲田・商）

問2 殷および周についての記述のうち、最も適切なものを選べ。

- ① 現在の河南省鄭州で1928年に行われた発掘調査で殷墟が発見され、殷王朝の存在が確認された。
- ② 周は黄河支流の渭水流域におこり、殷に服属しながら国力を増大させた。
- ③ 周の武王は前1027年の牧野の戦いで殷の桀王を破り、殷王朝を滅亡させた。
- ④ 周は西方の異民族犬戎によって都の朝歌を攻略されたため、前770年に東方の洛邑に遷都した。

（早稲田・社会科学 改）

問3 春秋戦国時代に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ① 春秋時代の名称は、孔子の編纂といわれる周の年代記『春秋』に由来し、戦国時代の名称は諸国の外交戦略を記した『戦国策』の書名に由来する。
- ② 春秋時代、有力諸侯は周王の権威を利用しつつ、みずからの勢力拡大に努めた。彼らは「尊王攘夷」を唱えて同盟の盟主たらしめ、覇者と称した。
- ③ 周の封建制は春秋時代まで残り、諸侯と卿・大夫の主従関係において、諸侯が封土・采邑を与え、その見返りとして貢納と軍事奉仕の義務を負わせた。
- ④ 戦国時代の諸国は、邑の集合体という国家形態から、領土を支配する領域国家へと変質し、官僚機構を通じ人民を戸として支配した。（早稲田・法 改）

問4 諸子百家に関する記述として誤りを含むものを二つ選びなさい。

- ① 孟子は性善説を唱え、力による政治に反対し、徳による統治を説いた。
- ② 荀子は性悪説を唱え、社会秩序維持のために仁の重要性を強調した。
- ③ 莊子は無為自然の立場から、世俗的な欲望を捨てて自由になることを目指した。
- ④ 張儀は秦に対抗する合従策を説いたが、蘇秦の連衡策に敗れた。

（早稲田・国際教養 改）

問5 戦国の七雄の説明として誤りを含むものを選べ。

- ① 臨淄と都とした齊は東方の大国で、その討滅をもって秦の統一が完成した。
- ② 西方の秦は咸陽に都を置き、東方の六国と和戦をまじえた外交を展開した。
- ③ 魯の都である曲阜は孔子の生誕地で、儒教の中心地として知られている。
- ④ 趙は、晋を三分した家臣の一人が周王から諸侯と認められ、邯鄲を都とした。

（早稲田・法）

問6 戦国時代の秦に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選べ。

- ① 秦は中国の北西辺境の地より起こったが、東に移動しながら勢力を拡大していき、孝公のとき都を咸陽に移し、富国強兵政策をおこない、権力の強化をはかった。
- ② 孝公のときに登用されたのが商鞅で、彼は貴族の出身であったが、母国では受け入れられず、秦国において、県制の実施、戸籍の作成、度量衡の単位を統一した。
- ③ 韓非は法家の理論を集大成し、君主の定めた法による官僚の統御と人民統治を主張したが、秦王政に仕える李斯の謀略により自害させられた。
- ④ 社会的分業の発展につれ、各国は青銅貨幣を鑄造した。秦では刀銭が鑄造され、秦王政が始皇帝となると、それを統一貨幣と定めた。(早稲田・法改)

【正誤問題解答】

問1 ③ 問2 ② 問3 ① 問4 ②・④ 問5 ③ 問6 ④

【論述問題】

殷と周の統治体制の違いについて、
以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。

甲骨 血縁 封土

周の封建制



	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

第5回 ポエニ戦争期、奴隷を使役してオリーブなどの商品作物を生産するラティフンディアが成立した。3世紀には小作人コロヌスを用いて自給用穀物を生産するコロナートゥスに転換した。(84字)

前期第7回 東アジア②(秦漢)

問1 秦の始皇帝に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

- ① 地方行政制度として郡国制を全国に施行し、中央集権体制の基礎を築いた。
- ② 儒教思想に基づく中央集権体制を確立するため言論・思想の統制を行った。
- ③ 楚の項羽は漢の劉邦と争い、四面楚歌のなかで垓下の戦いに敗れて自殺した。
- ④ 始皇帝による統一後、秦はわずか15年で崩壊した。(成蹊・文 改)

問2 前漢の政治および社会の説明として正しいものを選び。

- ① 高祖劉邦の死後、皇后であった武氏の一族が政権を奪って専横を極めた。
- ② 景帝が派遣した遠征軍が匈奴の冒頓単于に大敗したのち、領土削減に反対する諸侯が呉楚七国の乱をおこした。
- ③ 県の下には郷・亭・里の郷村組織が置かれ、徳望ある年長者から互選された里老人が行政、徴税、教化を行った。
- ④ 長安に近い直轄地には郡県制を施行し、地方には皇帝の一族や功臣などを王・侯とする封建制を施行した。(早稲田・人間科学 改)

問3 漢王朝に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び。

- ① 高祖は、直轄地には郡県制で官僚を派遣し、遠隔地には劉氏一族や功臣を諸侯として領土を与える封建制を採用した。これが郡国制である。
- ② 郡国制のもと勢力を拡大した劉氏一族の諸侯勢力に対し、武帝が領土の削減をはかった結果、彼らが呉楚七国の乱を引き起こした。
- ③ 武帝は、地方長官による官吏候補者の推薦を意味する郷挙里選を推進し、はじめて元号を定めるなど、帝権を強化して中央集権化をはかった。
- ④ 高祖は匈奴の冒頓単于に敗れ、屈辱的講和を結んだ。
- ⑤ 武帝は匈奴挾撃のため張騫を大月氏国に派遣し、衛青や霍去病が匈奴を北方に追いやった。(早稲田・法 改)

問4 漢の武帝の説明として正しいものを選び。

- ① 匈奴に対する和親策を放棄し、衛青、霍去病、李陵らに匈奴を攻撃させた。
- ② 董仲舒の献策をいれて五経博士を設置し、儒教を科挙の科目とした。
- ③ 南越国を滅ぼして9郡を設置したが、徴姉妹の反乱がおこった。
- ④ 高句麗を滅ぼして楽浪、真番など4郡をおいた。(早稲田・教育 改)

問5 新と後漢についての記述として正しいものを、次の中から一つ選びなさい。

- ① 新をたてた王莽は、秦を理想とする復古政治を行った。
- ② 後漢の西域都護である班超は、部下の甘英を大秦に派遣し、国交を結んだ。
- ③ 儒家官僚を外戚勢力が弾圧する「党錮の禁」が行われた。
- ④ 2世紀後半に、黄巾の乱が起こった。(成蹊・法 改)

問6 後漢の外交に関連して、誤っているものを一つ選べ。

- ① 後漢の西域都護・班超の兄は、『漢書』を著した班固である。
- ② 班超が大秦国に派遣しようとした彼の部下は甘英である。
- ③ この時代、後漢はカスピ海以東 50 カ国を勢力下に置き西域都護が統括した。
- ④ 1 世紀末、後漢は北匈奴と協力して南匈奴を挟撃し、北辺の脅威を一掃した。

(東洋・經濟他 改)

【正誤問題解答】

問 1 ③ 問 2 ④ 問 3 ② 問 4 ①

問 5 ④ 問 6 ④

【論述問題】

秦と前漢の儒家に対する政策の違いについて、以下の語句を用いて 90 字以内で説明しなさい。

李斯 董仲

儒学と政治

③ 秦始皇帝... 法家 李斯

↓ 焚書·坑儒

④ 漢武帝...儒家董仲舒

- ・儒学の官学化
- ・五経博士の設置
- ・郷挙里選

一有徳者を官吏に



	5				10				15				20			
5																

【論述問題解答例】

第6回 殷は神権政治。王が甲骨を用いて神意を占い、多くの邑を従えた。周は封建制度。血縁を重視し、王は一族功臣を諸侯に、諸侯は同様に卿・大夫・士を任命して封土を与え、軍役・貢納を課した。(88字)

前期第8回 東アジア③（魏晉南北朝～隋）

問1 三国時代についての記述として正しいものを一つ選びなさい。

- ① 劉秀は蜀の建国者で、魏・呉とともに天下三分を実現した。
- ② 華北を統一した曹操は、赤壁の戦いで劉備・孫権の連合軍に勝利した。
- ③ 司馬炎(武帝)は晋を建国し、蜀を滅ぼして中国を統一した。
- ④ 呉の都・建業(現在の南京)は江南の政治・経済・文化の中心であり、東晋も同地に都を置いた。(中央・経済他 改)

問2 五胡十六国時代に関する記述としてもっとも適切なものは、次のうちどれか。

- ① 西晋の武帝の後継者をめぐる八王の乱で、諸王が周辺民族の傭兵を利用したことが五胡の華北への侵入の契機となった。
- ② 五胡の戦乱を避けて華北から漢人が移住した江南は、混乱で開発が遅れた。
- ③ 華北で興亡した五胡十六国は、いずれも遊牧民族の五胡が建国した。
- ④ 五胡は中国文化の移入を拒み、戦乱で華北は荒廃した。(成蹊・文 改)

問3 4世紀初頭の華北の動乱に関する記述として、正しいものを選び。

- ① 反乱軍は、「王侯将相いずくんぞ種あらんや」と下剋上を呼びかけた。
- ② 呉と楚を中心とする諸侯国連合軍が、漢に対して反乱を起こした。
- ③ 反乱軍は、「蒼天すでに死す。黄天まさに立つ」と漢王朝の打倒を呼びかけた。
- ④ 匈奴を中心とする遊牧民が、晋の都の洛陽を攻略した。(関西学院・文他 改)

問4 北魏の孝文帝がおこなった政策として正しいものを一つ選びなさい。

- ① 漢人の言語や服装を禁止した。
- ② 魏・晋の土地制度を参考にして、屯田制を実施した。
- ③ 三長制という村落制度、戸調式という課税制度を実施した。
- ④ 平城から洛陽に遷都した。(中央・法 改)

問5 均田制の説明として誤っているものを選び。

- ① 西晋の占田・課田法は、均田制につながる土地制度とされる。
- ② 北魏の均田制は、農民への土地の給付と回収を定めた。
- ③ 隋の均田制は、妻や耕牛に対しても土地を支給した。
- ④ 唐の均田制は、丁男と中男に口分田と永業田を支給した。(早稲田・商)

問6 五胡十六国時代に活躍した僧侶の説明として最も適切なものを一つ選び。

- ① 中国最初の經典翻訳者である亀茲出身の鳩摩羅什が訳した經典は「旧訳」と呼ばれ、後に玄奘らの「新訳」に対比される。
- ② 仏図澄は、鳩摩羅什の翻訳經典に基づいて老莊思想的な仏教理解を排除す

るとともに、出家の人々の生活規範を整備することに力を尽くした。

③ 法顯は南海經由でインドに入り、仏跡巡礼の後、シルクロードを経て帰国した。

④ シルクロードを経てインドに入った玄奘は、ハルシャ王の庇護のもと、ナーランダー僧院で仏教を究め、大量の仏典を伴って帰国した。 (東洋・文他 改)

問7 隋王朝についての記述として誤りを含むものを選びなさい。

① 楊堅は北周の外戚だったが、禪譲の形で帝位を奪い、隋朝を開いた。

② 隋は九品中正法を廃し、学科試験による官吏登用をはじめた。

③ 隋は北の突厥、東の高麗への遠征を行ったが、いずれも平定できなかった。

④ 隋が都を置いた大興城は今日の西安にあたる。(中央・経済 改)

【正誤問題解答】

問 1 ④ 問 2 ① 問 3 ④

問 4 ④ 問 5 ③ 問 6 ①

問 7 ③

【論述問題】

漢代から隋代までの官吏登用制度について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。

漢の武帝 門閥貴族 学科試験

中国の官吏登用法 ¹郷挙里選 ²九品中正 ³科挙

漢の ¹ _____	地方長官が有徳者を推薦。豪族に有利。
魏の ² _____	中正官が有徳者を推薦。門閥貴族の形成。 しょうひん かんもん かりん せいぞく “上品に寒門なく、下品に勢族なし”
隋の ³ _____	学科試験。身分にかかわらず能力で採用する。 政策・儒学経典・詩の3科目から選択。 歴代王朝が採用し、清末の1905年まで続く。

[illegible]

【論述問題解答例】

第7回 秦の始皇帝は法家の李斯の建言により、焚書・坑儒を行って儒家を弾圧した。前漢の武帝は儒家の董仲舒の建言により、儒学を官学化して五経博士を設置し、郷塾里選で有徳者を官吏に採用した。(88字)

前期第9回 東アジア④(唐)

問1 唐の律令制に関する次の記述のうち適切なものを1つ選べ。

- ① 律令の施行細則を格といい、律令の変更・補充の規定を式という。
- ② 中書省が詔勅の草案を作成し、尚書省がこれを審議し、門下省が執行した。
- ③ 社会の変化に対応して、節度使などの令外の官が設けられた。
- ④ 均田制の実施により、大土地所有が消滅した。(早稲田・社会科学 改)

問2 唐代の政治について正しいものを選びなさい。

- ① 李淵は隋末の混乱に乗じて、ウイグルの支援を得て唐を建国した。
- ② 中央に置かれた三省のうち、門下省は詔勅の審議を担当した。
- ④ 唐は長城以北の異民族を監視するため衛所を置き、防備を固めた。
- ③ 則天武后は、玄宗の死後即位し、国号を周とした。(同志社・社会 改)

問3 唐の周辺民族に対する支配に関する次の記述のうち適切なものを1つ選べ。

- ① 都護府を通じた間接統治政策を、羈縻政策という。
 - ② 安東都護府が置かれたハノイは南海交通の基地となった。
 - ③ 突厥は6世紀中頃にモンゴル高原から興り、匈奴を滅ぼして大帝国を築いた。
 - ④ チベット高原には南詔が建国され、唐は皇女の降嫁により姻戚関係を結んだ。
- (早稲田・社会科学 改)

問4 唐代の外来宗教の説明として誤っているものを選べ。

- ① 回教は唐代には主に海路で伝えられ、中国南方の港市に寺院が建てられた。
- ② 景教はネストリウス派キリスト教の中国名で、阿羅本が来朝して布教した。
- ③ 祆教はゾロアスター教の中国名で、その寺院は清真寺と呼ばれた。
- ④ 摩尼教は、西洋ではカタリ派に影響を与えた。(早稲田・教育)

問5 朝貢と冊封の説明として誤っているものを選べ。

- ① 中国王朝が与える返礼品を目当てに、朝貢使節を送る国もあった。
- ② 朝貢使節に参加した商人が、寄港地で現地の商人と交易することもあった。
- ③ 日本は唐の冊封を受けていなかったが、遣唐使は朝貢使節として扱われた。
- ④ 唐の玄宗は、大祚榮を渤海郡王に封じた。(早稲田・商 改)

問6 唐に関連して誤りを含むものを一つ選びなさい。

- ① 阿倍仲麻呂のように、外国人の中にも唐王朝に仕えるものがあらわれた。
 - ② 服属した部族の首長に統治を委ね、節度使が監視する羈縻政策をおこなった。
 - ③ 則天武后は科挙官僚を積極的に任用し、貴族勢力を抑圧した。
 - ④ 帝室の保護を受けた仏教・道教が栄える一方、景教・祆教・マニ教など外来の宗教の寺院も建てられた。
- (日本女子・文 改)

前期第 10 回 東アジア⑤（宋と北方民族）

問 1 北宋初期の政策や出来事として誤っているものをすべて選べ。

- ① 文治主義をとり、軍人の勢力を弱めるために禁軍を廃止した。
- ② 科挙では州試、省試、殿試の3段階制が確立し、殿試の上位合格者が高級官僚に任命され、君主独裁体制が強化された。
- ③ 遼の聖宗と宋の真宗が澶淵の盟を結び、宋は兄、遼は弟の礼をもって親交し、宋が遼に対して毎年絹 20 万匹、銀 10 万両を贈ることで和平を実現した。
- ④ この盟約により、遼は燕雲十六州を宋に返還した。（早稲田・教育・法 改）

問 2 西夏と遼に関する説明として正しいものを選べ。

- ① モンゴル系党項族の李元昊が建国した西夏は、宋と慶暦の和約を結んで、銀・絹・茶などの歳賜を受けた。
- ② 西夏は、東西交通路の要地であるベラサグンに都を置き、中継貿易で栄えた。
- ③ 遼の初代皇帝とされる耶律阿保機は契丹族を統一して建国し、高麗の都である開城に遠征したのち陣没した。
- ④ 遼は、遊牧民には部族制によって統治する北面官、農耕民には州県制によって統治する南面官を設置した。（早稲田・人間科学 改）

問 3 王安石の新法に関する以下の記述の中で、正しいものを選べ。

- ① 平準法は物価安定のため各地の産物を政府が買い上げ、不足地で転売した。
- ② 均輸法は高利貸しに苦しむ小農民に穀物や資金を政府が低利で貸し付け、収穫時に返済したが、地主層の反対にあった。
- ③ 市易法は中小商人の手持ち物資が売れないとき、政府が買い上げた。大商人による価格操作を抑制し、物価調節をはかった。
- ④ 募役法は官戸に労役を免除するかわりに免役金を徴収し、希望者に雇金を支給して労役に従事させた。（早稲田・法 改）

問 4 金と遼に関する説明として正しいものを選べ。

- ① 金は、トルコ系女真族の完顔部が今日の中国東北地方に建てた国である。
- ② 遼の王族・耶律大石は、中央アジアのベラサグンを拠点として西遼を建てた。
- ③ 西遼に滅ぼされたサーマーン朝は、史上最初のトルコ系イスラーム王朝であった。
- ④ 金はフビライが率いるモンゴル軍の攻撃で滅んだ。（早稲田・教育 改）

問 5 南宋の説明として誤りがあるものを選べ。

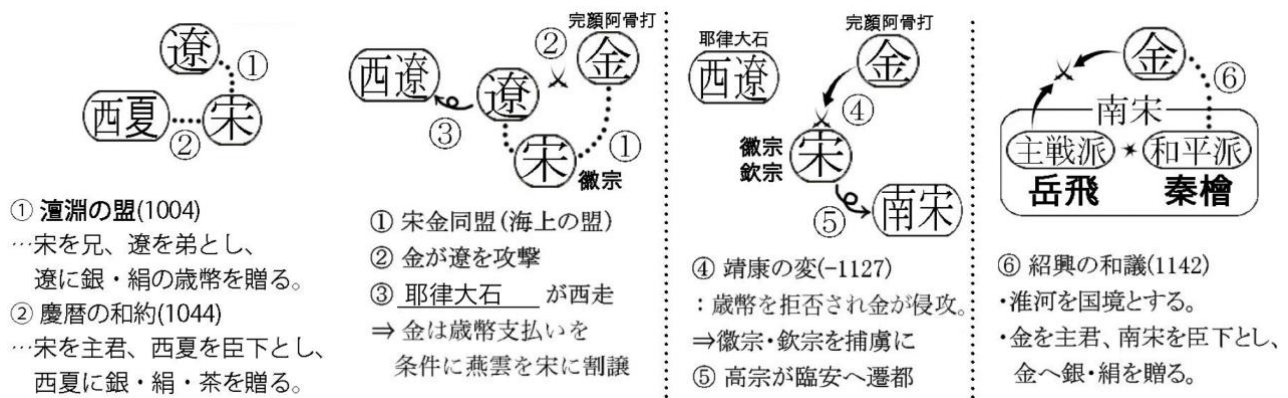
- ① 金の攻撃で開封が陥落すると、高宗は江南へ逃れて杭州を臨安府とした。
- ② 南宋の都・臨安は、江南運河によって長江に繋がる交通の要衝であった。
- ③ 金の侵攻に抵抗した岳飛は、宥和派の秦檜に捕らわれて殺された。
- ④ 南宋は金と講和条約を結び、燕雲十六州を割譲した。（早稲田・商 改）

問6 唐代以降の江南における水田開発について正しい記述を1つ選びなさい。

- ① 低湿地を堤防で囲み、水を抜いて造成された水田は囲田・圩田とよばれた。
 - ② 新しい品種の稲は、「林邑稻」という品種名が与えられた。
 - ③ 新田造成の結果、「湖広熟すれば天下足る」という言葉が生まれた。
 - ④ 新田開発で土地を広げた階層には官戸・形勢戸が多く、直接耕作者は自作農の小農民であった。
- （上智・法他 改）

【正誤問題解答】

問 1 ①・④ ① 問 2 ④ 問 3 ③ 問 4 ② 問 5 ④ 問 6 ①



【論述問題】

問 宋の外交関係の推移について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。

澶淵の盟 靖康の変 淮河

	5	10	15	20
5				

【論述問題解答例】

第9回 吏部が行う官吏採用面接では 貴族を優遇し、貴族の子弟は蔭位の制で科挙を免除した。貴族の拠点門下省は詔勅の修正権を持った。(59字)

前期第 11 回 東アジア⑧ (モンゴル帝国・元)

問 1 女真とモンゴルの説明として正しいものを選び。

- ① 女真は猛安・謀克、モンゴルは千戸制を軍事力の基盤とした。
- ② 女真はツングース系遊牧民であり、モンゴル高原を故地とした。
- ③ フビライは元朝を開いて大都に都し、金を滅ぼすと高麗を属国とし、日本と南宋の平定計画を進めた。
- ④ 南宋の武将岳飛は、モンゴルへの徹底抗戦を主張して講和派に謀殺された。

(早稲田・商 改)

問 2 モンゴル帝国の大ハンに関する説明のうちで誤りを含むものを選び。

- ① チンギスは、ホラズム朝や西夏を征服、金を滅ぼした直後に陣没した。
- ② オゴタイが派遣したバトゥは、リーグニッツでドイツ・ポーランド連合軍に大勝した。
- ③ モンケは弟のフラグに遠征を命じ、アッバース朝を征服した。
- ④ フビライは大都に遷都して国号を元と定め、日本に遠征軍を送るとともに南宋を滅ぼした。

(早稲田・法 改)

問 3 モンゴル帝国について述べた文として、正しいものを選びなさい。

- ① モンゴル帝国はワールシュタットで、ドイツ・ポーランド諸侯連合軍に敗れた。
- ② チンギス=ハンが組織した千戸制は軍事組織であり、行政組織も兼ねた。
- ③ チンギス=ハンの孫ハイドゥは、フビライ=ハンの即位に反対して、反乱を起こした。
- ④ キプチャク=ハン国は、都をタブリーズに置いた。

(明治・国際日本 改)

問 4 ヨーロッパとモンゴル帝国の関わりについて最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① プラノ=カルピニは、教皇ボニファティウス 8 世の使者としてモンゴル帝国を訪れた。
- ② ルブルックは十字軍への協力を求めてモンゴル帝国に派遣された。
- ③ ジェノヴァ出身の商人マルコ=ポーロは『世界の記述』を書いた。
- ④ モンテ=コルヴィノはカラコルムの大司教となった。

(明治・文)

問 5 元朝に関する事項として誤っているものを選び。

- ① モンゴル帝国は支配領域にジャムチをしいたが、中国には適用しなかった。
- ② 長江下流から山東半島を回って大都方面に至る海運が発達した。
- ③ 交鈔は金・元・明で発行された紙幣の総称で、元では主要通貨となった。
- ④ 首都大都に江南から物資を運ぶため、新運河を開削した。

(早稲田・法 改)

問 6 モンゴル帝国の諸ハン国の説明として正しいものを選び。

- ① チャガタイ=ハン国はアルマリクを首都として中央アジアで勢力を強めたが、14 世紀に入ると南北 2 国に分裂した。
- ② イル=ハン国はイスラーム教を国教としたガザン=ハンの治世下に全盛期を迎え、イ

ラン=イスラーム文化が成熟した。

③ キプチャク=ハン国はヴォルガ川流域のサライに都し、ウズベク=ハンの時代にキリスト教に改宗した。

④ オゴタイ家のハイドゥは、チャガタイ=ハン国やイル=ハン国と同盟して、元の世祖と40年にわたる抗争を続けた。
(早稲田・法 改)

【正誤問題解答】

問1 ① 問2 ① 問3 ② 問4 ② 問5 ④ 問6 ②

【論述問題】

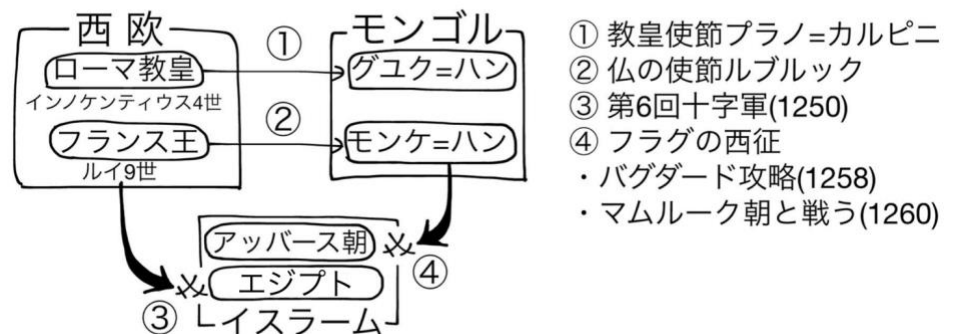
問 モンゴル帝国と西欧諸国との交渉について、以下の語句を用いて90字以内で説明しなさい。

プラノ=カルピニ

マムルーク朝

ワールシュタット

モンゴル帝国と西欧との関係



5	10	15	20
5			

第10回 澶淵の盟で遼への歳幣を強いられた北宋は、金と同盟を結び、遼を西走させた。しかし金への歳幣を拒否、金は靖康の変で北宋を滅ぼし、南宋と講和して淮河以北を獲得し、歳幣支払いを約束させた。(90字)

【論述問題解答例】

第11回 ワールシュタットの戦いのあと、教皇使節プラノ=カルピニ、仏王ルイ9世の使節ルブルックがカラコルムを訪問。仏王の十字軍に続き、フラグのモンゴル軍がマムルーク朝エジプトに侵攻した。(88字)